

授業科目名 (英文表記)	コロナ後の世界に暮らす ～感染症の時代と人間・地域・社会～ (Living in the post-corona world)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	金川 めぐみ、厨子 直之、豊田 充崇、藤永 博、鈴木 裕範 (非常勤講師)		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 6月19日(土) 13:00～17:00	④ 8月7日(土) 13:00～17:00	
	② 7月3日(土) 13:00～17:00	⑤ 8月28日(土) 13:00～17:00	
	③ 7月24日(土) 13:00～17:00	⑥ 9月4日(土) 13:00～17:00	

【授業の概要・ねらい】

本授業では、新型コロナウイルスのパンデミックが日本社会の諸問題を焙り出すなかで、混沌の時代を生きていく社会のあり方や個人の暮らしを、三つのテーマで考察することを目的とします。ひとつは、「縮小社会」が福祉や雇用にどのような問題を引き起こしているのかを検証しながら、生きやすい地域・社会をどのように実現していくのかを考えます。二つ目は「大事件」のもとで、判断を間違えないための情報の読み方です。コロナから学ぶ大災害への備えと知恵を探ります。歴史的な事件に直面したとき、国民に「正確な情報」を伝えるのは、SNSではなくジャーナリズムの仕事です。コロナ下で日本のジャーナリズムは国民の期待に十分応えたか、あすの暮らしのために改めて考察すべき問題です。そして情報を扱う際の情報(メディア)リテラシーや教育分野にも急速に導入が進みつつあるICTの活用に関しても正しい知識が必要となっています。情報の受け止めと活用に関しても考えます。三つ目は「ワンワールド・ワンヘルス」の考えです。人と人のつながり、ヒトとウイルスの関係、人間を含めた生態系(環境)などについてふりかえり、そのうえでコロナ後の世界での暮らしを考えてみます。

【授業計画】

第1回「コロナ前後の福祉政策」 経済学部：金川 めぐみ

コロナ禍は、和歌山県の地域経済にも深刻な影響を与えており、企業等の活動の停滞は多くの生活困窮者を生み出し、とくに一人親家庭や非正規雇用者などの暮らしを直撃しています。コロナ前後の福祉政策の現状と課題を明らかにし、これからを展望します。

第2回「こころの資本の高め方」 経済学部：厨子 直之

こころの資本(心理的資本)とは、一人ひとりが持つポジティブな心のエネルギーのことです。コロナによるパンデミックの状況下だからこそ、変化を恐れず前向きに行動していく強さが不可欠です。こころの資本の高め方について、ポジティブ心理学を基盤とする組織開発のワークを行いながら考えていきます。

第3回「情報(メディア)リテラシー」 教育学部：豊田 充崇

現在、情報は様々な方法で入手することができる反面、その情報源が正しいのか否か、判断するのもまた困難な時代となっています。情報媒体過多時代に、間違えない判断のための情報(メディア)リテラシーについて考えます。

第4回「教育とICT」 教育学部：豊田 充崇

コロナ禍で急速に導入が進んだICT活用に関して、学校現場での導入の際の利点や課題、インフラに課題のある地域と都市部の教育の機会格差は有るのか、今後のICT活用教育の方向性と可能性を考えます。

第5回「ジャーナリズムの役割と責任」 非常勤講師：鈴木 裕範

正義の顔をしてあおる憎悪、匿名の向こう側に隠れて発信されるヘイトニュース。危機にこそ国民・市民の期待に応えることが期待されるジャーナリズムはどこにいるか。「コロナ報道」を検証しつつ、ジャーナリズムの可能性と問題点をあげ課題を考え、よりよい社会への可能性を考えます。

第6回「ウイルスと人間 - 『ワンワールド』に生きる」 経済学部：藤永 博

私たちはエマージング・ウイルスが次々と人類を襲う時代を生きています。そうした時代の一局面であるコロナ後の世界での暮らしに想いを巡らせつつ、人と人のつながり、ヒトとウイルスの関係、そして人間を含めた生態系(環境)についてふりかえります。ウイルスと人間と環境のつながりを、「ワンワールド・ワンヘルス」の考え方を取り入れて捉え直おしてみます。

【到達目標】

現代社会における社会環境、福祉に関する知識を得る。メディアの活用や情報リテラシーの意味について、自分の考えを述べるができる。多様な社会環境のなかで暮らすための情報を正しく得て活用することができる。

【教科書】

使用しません。必要に応じて資料を提供します。

【参考書】

村上陽一郎 編「コロナ後の世界を生きる - 私たちの提言 -」(岩波新書、2020年) ISBN : 978-4-00-431840-8
 山内一也 著「新版 ウイルスと人間」(岩波科学ライブラリー、2020年) ISBN : 9784000296960
 東京大学総合研究会 編「ヒト、人、人間 われらはどこから来てどこへ行くか」としてはいるのか」 ISBN : 9784130031059
 他の参考書は授業時間中に紹介します。

【成績評価の方法】

レポート100% 各担当者がレポートの課題・テーマを設定し、授業時間中に説明します。

【授業時間外学修についての指示】

授業後、内容の復習をしっかりと行ってください。予習課題を必要とする場合には、担当講師から事前に連絡します。

【履修上の注意・メッセージ】

授業中、ディスカッションの時間を多くとりたいと思います。参考書などを利用して予習をし、積極的に参加してください。

※基本的に授業は対面での実施を予定しますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。